



令和3年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和3年4月28日

上場会社名 株式会社 三東工業社 上場取引所 東
 コード番号 1788 URL http://santo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥田 克実
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 矢森 貞行 TEL 077-553-1111
 四半期報告書提出予定日 令和3年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年6月期第3四半期の業績（令和2年7月1日～令和3年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年6月期第3四半期	5,301	15.7	265	34.7	275	30.1	174	6.4
2年6月期第3四半期	4,581	17.5	197	84.6	211	77.6	163	125.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年6月期第3四半期	293.23	—
2年6月期第3四半期	246.41	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年6月期第3四半期	5,288	2,667	50.4
2年6月期	4,003	2,524	63.0

(参考) 自己資本 3年6月期第3四半期 2,667百万円 2年6月期 2,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00
3年6月期	—	0.00	—		
3年6月期（予想）				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 令和3年6月期の業績予想（令和2年7月1日～令和3年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	5.2	130	42.7	140	26.2	90	△7.2	151.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	3年6月期3Q	686,000株	2年6月期	686,000株
② 期末自己株式数	3年6月期3Q	91,359株	2年6月期	91,359株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	3年6月期3Q	594,641株	2年6月期3Q	665,263株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にありますが、基調としては持ち直しの動きが続いております。

設備投資は、非製造業を中心に収益環境の悪化を受けた経費節減の動きがみられることから、減少しております。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっており、公共投資は、公共施設の建築工事や高速道路関連工事などを中心に増加しております。こうした中で、生産は、緩やかに増加しております。また、雇用・所得環境をみると、労働需給・雇用者所得ともに弱い動きとなっております。

一方、建設業界につきましては、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は、商業用は5か月ぶりに減少し、サービス業用も6か月連続で大幅に減少したものの、鉱工業用が12か月ぶりに大幅に増加したため、この3業用計では11か月ぶりに増加いたしました。

このような経済状況下、当社は現場力の強化、経費削減及びリスク管理の強化を重点的に取り組み、競争力を高める努力をしております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高5,301百万円（前年同四半期比15.7%増）、営業利益265百万円（前年同四半期比34.7%増）、経常利益275百万円（前年同四半期比30.1%増）、四半期純利益174百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①土木部門

土木部門の受注工事高は、3,337百万円（前年同四半期比17.4%減）となり、完成工事高3,278百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益211百万円（前年同四半期比69.8%増）となりました。

②建築部門

建築部門の受注工事高は、2,435百万円（前年同四半期比63.6%増）となり、完成工事高1,998百万円（前年同四半期比51.2%増）、セグメント利益42百万円（前年同四半期比24.2%減）となりました。

③不動産部門

不動産部門の売上高は24百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益11百万円（前年同四半期比30.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は4,253百万円となり、前事業年度末に比べ1,305百万円増加いたしました。これは主に現金預金が738百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,035百万円となり、前事業年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主にその他の有形固定資産が18百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,288百万円となり、前事業年度末に比べ1,284百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,561百万円となり、前事業年度末に比べ1,141百万円増加いたしました。これは主に支払手形・工事未払金等が673百万円及び短期借入金が400百万円増加したことによるものであります。固定負債は59百万円となり、前事業年度末と比べ0百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が3百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,620百万円となり、前事業年度末に比べ1,141百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,667百万円となり、前事業年度末に比べ143百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が147百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.4%（前事業年度末は63.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、変更しておりません。今後の市場動向などを踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年6月30日)	当第3四半期会計期間 (令和3年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,251,186	1,989,198
受取手形・完成工事未収入金等	1,427,445	2,002,962
販売用不動産	202,336	202,336
その他	66,433	58,879
流動資産合計	2,947,401	4,253,377
固定資産		
有形固定資産		
土地	391,314	391,314
その他（純額）	343,685	325,287
有形固定資産合計	734,999	716,601
無形固定資産		
その他	23,126	23,861
無形固定資産合計	23,126	23,861
投資その他の資産		
投資有価証券	179,888	172,367
その他	141,262	144,920
貸倒引当金	△22,698	△22,698
投資その他の資産合計	298,452	294,588
固定資産合計	1,056,578	1,035,051
資産合計	4,003,979	5,288,429
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	850,519	1,524,095
短期借入金	—	400,000
未払法人税等	58,252	75,111
未成工事受入金	420,450	485,473
完成工事補償引当金	6,400	5,100
その他	84,379	71,538
流動負債合計	1,420,001	2,561,319
固定負債		
繰延税金負債	6,775	3,596
その他	52,984	56,029
固定負債合計	59,759	59,625
負債合計	1,479,761	2,620,945

（単位：千円）

	前事業年度 (令和2年6月30日)	当第3四半期会計期間 (令和3年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	849,500	849,500
資本剰余金	625,900	625,900
利益剰余金	1,212,369	1,359,977
自己株式	△209,913	△209,913
株主資本合計	2,477,856	2,625,464
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46,362	42,019
評価・換算差額等合計	46,362	42,019
純資産合計	2,524,218	2,667,484
負債純資産合計	4,003,979	5,288,429

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和元年7月1日 至 令和2年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和2年7月1日 至 令和3年3月31日)
売上高		
完成工事高	4,556,627	5,276,871
不動産事業等売上高	25,308	24,385
売上高合計	4,581,935	5,301,257
売上原価		
完成工事原価	4,105,320	4,766,393
不動産事業等売上原価	8,476	12,749
売上原価合計	4,113,796	4,779,143
売上総利益		
完成工事総利益	451,307	510,478
不動産事業等総利益	16,832	11,635
売上総利益合計	468,139	522,113
販売費及び一般管理費	271,001	256,634
営業利益	197,138	265,479
営業外収益		
受取利息	347	334
受取配当金	730	607
経営指導料	14,741	9,698
雑収入	1,091	2,623
営業外収益合計	16,911	13,263
営業外費用		
支払利息	1,030	1,322
支払保証料	1,038	1,614
営業外費用合計	2,069	2,937
経常利益	211,980	275,805
特別利益		
受取損害金	43,097	—
特別利益合計	43,097	—
特別損失		
固定資産売却損	—	708
特別損失合計	—	708
税引前四半期純利益	255,078	275,096
法人税等	91,150	100,729
四半期純利益	163,927	174,367

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。